



□令和3年12月24日発行
 □男鹿市立男鹿東中学校
 男鹿市船越字根木169番地

寅年・東中生の成長に期待

後期前半の成果を糧に、新年の決意新たに突き進め！若竹の健児

10月14日に後期の前半がスタートし3か月が過ぎるとともに、令和3年も終わりに近づいています。今号では、大きく2点から後期前半を振り返ります。

○目指す生徒像“学”に向かい全校の成果に

前期は、仲間と絆を固め挑戦する学校行事や諸体育大会、コンクールなど、目指す生徒像の「挑」「結」に関わる機会が多いのに対し、後期はじっくりと腰を据えて学習に向かう、「学」を中心に鍛える時期に当たります。

後期前半は、特に学習に向けて全校体制で臨みました。全校生徒が後期の中間テストに向かうとともに、3年生は実力テストや受験勉強、1、2年生は県の学習状況調査などに取り組みました。自ら進んで各種検定に挑戦した生徒も多数いました。具体的な目標をもって、朝学習で復習をしたり、放課後に先生方と学習相談をしたりする様子が、校内のあちこちから見られ大変頼もしく感じました。

このように全校の学習に向かう気風を高めたきっかけの一つが、学習委員会のキャンペーン「目指せ オール5！全校学習評価調べ」でした。3年生は、授業に臨む真剣さや雰囲気の高さからオール5を立て続けに達成しました。職員室前の集計表を見つめる1、2年生からは「3年生はすごい」という尊敬の声が上がっていました。

私は毎日、全校の授業の様子を見て回っていますが、間違いなく3年生の学習に向かう集中度、そして、授業中の和やかな雰囲気は全学年で一番です。本校の最上級生として模範となる姿です。そして、このキャンペーンが進むにつれ、1、2年生にもオール5を達成する学級が始め、ほとんどの学級が、それまでの課題を改善につなげていきました。

最も効果的な学習方法は、授業に集中して取り組み、学んだことは授業中に確実に身に付けることです。そのためには、授業に集中する学級の雰囲気ができていることが最も重要です。生徒一人一人は学級の学習環境をつくっています。学級全員で、最良な学びの環境をつくり上げることが、最も有効な学力向上策です。これを意識し、オール5達成が東中の全学級の当たり前になるようにしていきます。今回のキャンペーンの成果が、後期後半に全学級で一層大きな実りとなることを期待しています。



△職員室前に掲示している「学習評価調べ」。あいさつ、タイム席、学習活動、忘れ物の4項目を評価し、学習習慣の確立を目指しています。

○ラグビー部、東日本大会本戦に出場

ラグビー部は、東日本中学校ラグビーフットボール大会北海道東北予選を勝ち抜き、12月4日、5日、かねてからの念願であった本戦への出場を果たしました。本校としては14年ぶりの快挙です。

新型コロナウイルスの影響で、東北大会以上の大会が軒並み中止になったこの2年間、県外の相手と十分に経験を積めない中で向かった本大会でした。持ち前の俊敏な突破力を発揮し挑みましたが、準決勝では前半をリードするも後半逆転を許し、3位決定戦では前半リードされながら、後半は巻き返すも逆転に至りませんでした。しかし、全国レベルの相手と最後まで諦めずに戦い抜いたこと、接点で対抗できたことは、大きな成長であったと、琢真先生から報告を受けています。選手たちのたくましく勇ましい姿は、本校に、そして、男鹿市に、元氣と勇気を与えてくれました。

選手たちが本大会で得たものは、貴重な経験になったはずですが。この経験を、3年生は高校での自信に、そして、1、2年生は、新たな目標としてくれることでしょう。東中生は、このような素晴らしい仲間がいることに誇りを持ち、彼らが大会で見せた、最後まで諦めずに挑んだ粘り強さを「東中魂」としてしっかりと胸に焼き付け、一人一人が次に向かうエネルギーにしてほしいと思います。



△ラグビー部、本戦前日の練習の様子。東京の練習会場にて。

いよいよ明日から冬休みに入ります。そして、新しい年、令和4年を迎えます。

3年生は、年が明けてすぐの1月5日に実力テストがあり、6日から10日にかけては、いよいよ私立高校の推薦・前期入試が始まります。本校からは9名が受験します。全員の合格を祈ります。

2年生は、冬休みから、先日購入した受験用テキストを活用して、受験に向けた学習を本格的にスタートさせることになります。この冬休みは、年が明けると受験生になるという覚悟を決めるときです。

1年生は、入学当時とは比べものにならないくらい心身ともに大きく成長しました。そして、来年度は後輩を迎えることになります。尊敬される先輩として、後輩に模範を示せるよう、今がすべきことしっかりと取り組みましょう。

来年の干支は「寅」です。中国の「漢書」によると、「寅」という字は、もともと草木が伸び始める様を表していると解釈され、寅年は物事の成長が期待できる年と言われています。是非、寅年の意味を踏まえ、その勢いに乗って成長を遂げる一年にしましょう。東中生一人一人が志をかなえられるよう、明日からの冬休みには、地道に自分を磨き、実力を養いましょう。その成果は、春にきっと現れることでしょう。1月14日には、全員が、新年の抱負と決意を堂々と宣言できるように、準備をしてきてください。冬休みが、安全で、充実したものとなるよう期待しています。(文責 森 山)